

エビ

Mud lobster / *Thalassina anomala* / Okinawa anajako / オキナワアナジャコ

固有種のエビであり、小型のロブスターに似ているが、ザリガニに近い。体長は 30cm にもなるが、主に 16～20cm ほどになる。体の色は薄茶、濃茶、緑とさまざまである。巣作りが特徴的で、2m の深さまでマングローブ周辺の堆積物を掘って作る。掘り出した土や砂は塚のように積み上げられ、高さ 1m 以上にもなることもある。オキナワアナジャコは夜行性で、日中はほとんど巣の中で過ごす。深い土壌から有機物を地表に出し、掘り出した部分に潮流が流れ込むようにしてマングローブの生態系において重要な役割を果たしている。英語では scorpion mud lobster とも呼ばれる。

Crane river prawn / *Macrobrachium formosense* / Minami tenaga-ebi / ミナミ

テ ナ ガ エ ビ

淡水性だが、ある程度耐塩性があるとされていて奄美大島の川やマングローブに生息するエビである。体長は最大 10cm で、体の色は様々で、灰色やオリーブ、茶色、濃い赤茶などもある。ミナミテナガエビの和名は見た目からの由来である。